

東濃地科学センターの状況

【土岐地区】

1. 土岐地球年代学研究所施設運転状況
 - ・加速器質量分析装置(AMS)：測定準備中（2022/7/1～）
2. 地質環境の長期安定性に関する研究
 - ・調査技術の開発・体系化を継続
 - ・長期予測・影響評価モデルの開発を継続
 - ・年代測定技術の開発を継続
3. その他
 - ・なし

【瑞浪地区】

1. 地下水の環境モニタリング調査
 - [瑞浪用地]
 - ・研究坑道内において掘削したボーリング孔（05MI01、07MI07、09MI17-1、09MI19、09MI20、09MI21、10MI23、10MI26、12MI32、12MI33、13MI39～41号孔）における地下水水圧観測を継続
 - ・研究坑道内において掘削したボーリング孔（05MI01、07MI07、09MI20、09MI21、10MI26、12MI32、12MI33号孔）、換気立坑（深度500m、深度400m、深度300m、深度200m、深度100m）および深度500m研究アクセス北坑道、深度500m予備ステージ、冠水坑道における地下水水質観測を継続
 - ・地表からのボーリング孔（MSB-1～4、05ME06号孔、MIZ-1号孔）を用いた地下水水圧観測を継続
 - ・地表からのボーリング孔（MSB-2、4号孔）を用いた地下水水質観測を継続
 - [正馬様用地]
 - ・地表からのボーリング孔（AN-1、MIU-3、4号孔）を用いた地下水水圧観測を継続
 - [広域地下水流動研究対象地域]
 - ・地表からのボーリング孔（DH-2、15号孔）を用いた地下水水圧観測を継続
 - ・地表からのボーリング孔（DH-2号孔）を用いた地下水水質観測を継続
2. 瑞浪用地周辺の環境影響調査
 - ・河川水の水質測定及び流量観測を継続（狭間川）
 - ・水位観測を継続（瑞浪用地周辺井戸）
3. その他
 - ・なし